

重点テーマについて

「オーガニックなまちづくり」のステップアップ

団塊の世代が75歳を超える2025年問題や、2026年に迎えると予測される本市の人口ピークアウトなど、将来押し寄せる社会情勢や本市を取り巻く環境の変化に対応しながら、より長期的な視野に立ち、本市の弱みを克服し、強みを活かした持続可能なまちづくりを強化していかなければなりません。

市民アンケートの結果や、都市総合開発審議会での意見を集約し、本市の弱みや強み、そして、活用できる機会を分析し、そこから見えた現状と課題を解決するとともに、市民の期待に応え、愛着と誇りの持てるまちをめざし、以下のとおり重点テーマを掲げます。

人がつながり支え合うまちづくり

- 1 妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援や、良好な教育環境を提供することにより、子どもの健やかな成長を支援します。
- 2 待機児童を解消し保護者が安心して働ける環境を整備するとともに、高齢者や外国人など様々な人々が活躍できる就業機会の創出を支援します。
- 3 健康で自立した生活が続けられるよう健康寿命の延伸に取り組むとともに、地域包括ケアシステムの推進による高齢者が地域で安心して暮らし続けるための福祉サービス充実に努めます。
- 4 自治会、市民活動団体や地区まちづくり協議会等に対する支援や、市民参加への行政ポイント制度等により、地域活動を活性化させ、子どもから高齢者まで誰もが貢献し合える地域コミュニティを育てます。
- 5 防災行政無線等の基盤整備を推進するなど防災力の充実に努めるとともに、自主防災組織の活性化を通じ、地域で助け合える地域防災力の向上に取り組みます。
- 6 電子地域通貨「アクアコイン」の普及推進を図り、商店街等の身近な地域での消費活動を高めます。
- 7 自治会が運営するバス等の新たな交通システム導入に向けた取組を推進し、買物や通院等の移動が困難な交通不便地域の解消をめざします。

多様な地域資源を磨くまちづくり

- 1 公共交通機関のターミナルである木更津駅を中心に、様々な都市機能をコンパクトに集約し、市内各地域をネットワークする拠点づくりを進めます。
- 2 みなと周辺の憩いの空間を整備する「パークベイプロジェクト」を推進し、木更津駅周辺へのマンション建設促進の相乗効果などにより、中心市街地の活性化に取り組みます。
- 3 未来志向の若者や子育て世代を主なターゲットに、多様なライフスタイルが実現できる「都心に一番近い田舎」をアピールする効果的な情報発信を行い、移住・定住者の増加を図ります。
- 4 東京湾アクアラインや首都圏中央連絡自動車道など、広域幹線道路網の整備によるアクセス面での優位性や立地環境の良さを活かした企業誘致を推進します。
- 5 木更津版DMOと連携し、自然や歴史・文化等の観光資源を活用した回遊性向上の取組や、外航クルーズ船寄港、ホテルシップ誘致などの推進に対応する、訪日外国人の受入体制を強化します。
- 6 農林水産物のブランド化支援や地産地消の推進による地場製品の消費・流通拡大を図ります。

ふるさとの未来に責任を持つまちづくり

- 1 公共施設への再生可能エネルギー導入による温室効果ガスの削減や、3Rの推進、食品ロスの削減等の環境に配慮した生活スタイルの定着を推進し、豊かな自然を次世代に継承します。
- 2 ICTやAIを活用し、業務の省力化による行政コストの削減と行政手続きの効率化や簡素化により、市民の利便性向上を図ります。
- 3 公共施設の総合的な管理に取り組み、学校等の施設統合や複合化で生じた余剰施設について、民間活力を導入し、地域への貢献や活性化に資する取組を進めます。
- 4 水道事業・火葬場・廃棄物処理事業の広域運用を進めるとともに、公共施設の共同利用をはじめとする広域行政の強化を図ります。